

2016年2月10日

内閣府規制改革会議提出資料

# NPO 日本文化体験交流塾

Institute for Japanese Cultural

Exchange and Education

IJCEE

理事長 米原亮三

# 1 (1) 団体の概要 / (2) 活動の実績

## 日本文化の継承・発展・創造を目的として設置

年	会員数		通訳ガイド等の実績(売上高)	
	人数	対前年比	万円	対前年比
2008年	48		43	
2009年	138	287%	129	300%
2010年	208	150%	407	316%
2011年	246	118%	385	95%
2012年	304	124%	1,256	326%
2013年	415	137%	2,636	210%
2014年	640	154%	4,901	186%
2015年	1,024	160%	9,002	184%

16年2月5日現在  
 会員数 1,064人  
 内訳  
 ・通訳案内士 935人  
 ・日本文化講師(茶道、書道、華道等の師範・教授等) 288人

寿司づくり



着物着付けと美しい着こなし



書道



華道



通訳案内士が外国語で、直接指導

# IJCEEとTJTの通訳案内士の能力活用システム

## 専門を生かした活動分野の開拓

- ・ショートタイムのガイドから実施
- ・ロングタイムや長期のスルーガイドへと成長
- ・料理、着物、茶道、書道、華道など体験講師を兼ねる
- ・観光のオフ期に翻訳・人材育成で通年の就業

## 時間制の謝金体系の導入

- ・2時間の謝金 5,800円～8,500円
- ・1時間ごとの追加謝金 2,000円～3,500円

## 評価システム

- ・プレゼンテーション演習を行い評価
- ・評価・履歴等人材情報システムの導入

子会社の旅行会社  
True Japan Tour  
(TJT)と連携して実施

## 2015年のIJCEEの1年間の研修の実績

分類	主な内容	総日数
通訳案内士新人研修	関東3コース・関西2コース	25日
関東・通訳ガイド研修	鎌倉、青山、相撲、両国等	175日
関東・日本文化研修	着物、料理、茶道、江戸博等	144日
関西等研修	東山、伏見、嵐山、直島等	35日
バス研修	富士山、高山・金沢、広島等	14日
旅程管理主任者(TJT)	関東 8日 関西4日	12日
	計	405日

出版:新人研修用テキスト「国際観光ガイドの基礎知識」

「Ash Warrenに学ぶ日本文化紹介」など12冊

実施した講義のDVD 「小澤弘先生の江戸・東京講座」53講座

# 通訳案内は、本当に業務独占されているのか？

多すぎる例外



実態は、独占していない！

例 地域限定通訳案内士

総合特区通訳案内士

中心市街地特例通訳案内士

添乗員によるガイド

東京シティガイド 1団体 4,000円～6,000円

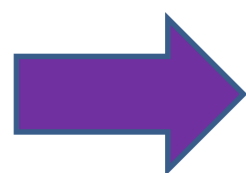
最も大事なものはお客様である訪日外国人の満足度の高さです。貴重な時間内で、通訳案内士を依頼するお客様の期待を裏切らないことです。(16団体共通の要望)

通訳案内士の役割は、日本文化などを伝えることで  
新たな魅力を発掘し、観光に付加価値をつけること

**通訳案内士は、質を保証するための制度** <sup>6</sup>

「中心市街地特例通訳案内士の制度運用に当たっては、通訳案内士を依頼する訪日外国人の満足度を低下させることのないように、中心市街地特例通訳案内士の語学能力や基本的な日本社会・文化に対する理解等の水準を十分に確保するとともに、地域における通訳案内士に対するニーズにも考慮しつつ国家試験に合格した通訳案内士の活用が図られるように指導すること。

また、中心市街地特例通訳案内士の名称については、国家試験に合格した通訳案内士と混同が起こらないよう十分に配慮し、両者の区分が明確になるような略称の使用に努めること」



英検2級の特例ガイドにも通訳案内士の名称を与えることで、お客様の混乱・不信が発生

## 2014年通訳案内士試験の結果

	受験者数	一次合格者	一次合格率 (%)	最終合格者数
英語	5,352	1,736	33.8	1,422
フランス語	252	55	22.2	49
スペイン語	171	33	19.5	27
中国語	906	94	10.4	81
ロシア語	84	12	14.6	11
韓国語	290	29	10.3	30
タイ語	30	1	3.4	1

1次試験科目 語学、歴史、地理、一般常識の4科目

2次試験 語学による面接

現行制度では、外国人受験者はほとんど合格していない<sup>8</sup>



## 2015年の試験、地理と歴史の合格点は、40点前後

地理問題、「三笠ジオパーク関連」(5題)、「京都の世界遺産に属する建造物の棟数」、「富士五湖を西から東へ並べた順番」、「高尾山1号路の距離数」など

一般常識、「2014年に日本に入港していないクルーズ船名」、「全国工場夜景サミットの開催都市名」、「高野山で護摩祈祷を行う宿坊名」など

4肢択一問題では、35問中、理解して正解する問題が8問、全くわからない問題27問とすると、平均得点は、42点です。つまり、77%の問題が極めて難しい。

**出題範囲が不明確で、毎年、出題傾向が変わるので、受験生は、勉強すべき本や内容が不明なのです。**

日本に長期滞在して、日本語堪能な外国人が、真面目に勉強しても、合格できない試験です。

# 通訳案内士試験の改善に関する請願書

2014年11月6日 16団体

現在、語学・地理・歴史・一般常識の各科目の筆記試験の合格者は、翌年のみ受験免除とされていますが、税理士試験のように、一度合格すれば、同じ科目を受けなくて良いようにすることにより、受験者の負担の軽減を図ってください。

国が中心となり、ガイド団体が協力し、通訳案内士に必要な知識、勉強すべきテキストを作成し、そこから出題することを提案します。これに学ぶことにより、通訳案内士のみならず、国際観光ボランティアを含めた日本全体のガイドのレベルアップが図れます。

以上、日本全体のおもてなし能力の向上を提案します。